

令和6年度京丹波町 当初予算の概要

京丹波町総務部財政課

令和4年度

幸せの まちづくりへの スタートアップ 予算

令和5年度

幸せの まちづくりへの 見える化 予算

令和6年度

幸せの まちづくりが 芽吹く 予算

一般会計歳入歳出予算額

112億3,300万円

(前年度比 +1億8,900万円 +1.7%)

町の財政を包括的、一般的に経理する会計。

一般会計予算には行政運営の基本をなす経費が中心として計上されており、京丹波町の予算の本体となるもの。

特別会計(公営企業会計)歳入歳出予算額

95億175万3千円

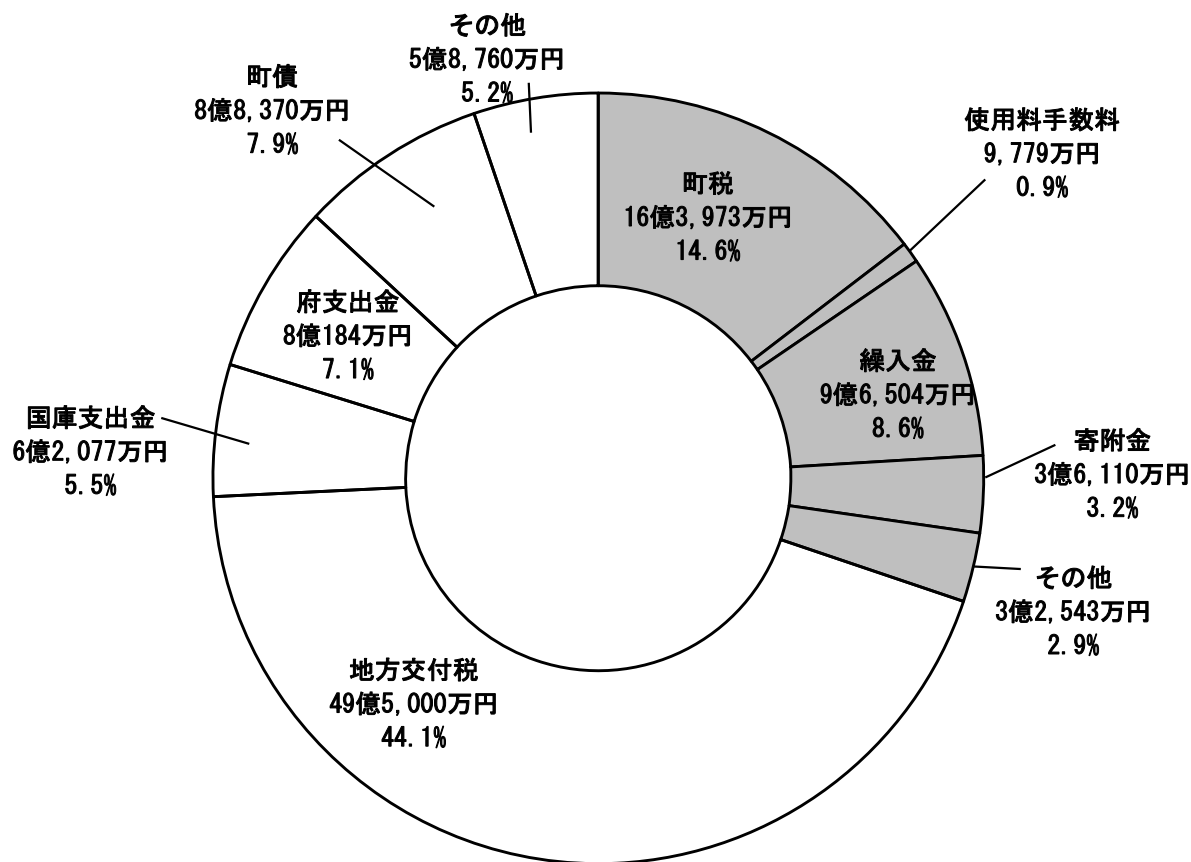
(前年度比 +9億562万9千円 +10.5%)

特定の事業を行う場合、または特定の収入をもって特定の歳出にあてる場合のもので、一般会計と区別して経理するものについて設けており、京丹波町では12の特別会計と3の公営企業会計を設置。

一般会計 **歳入** 内訳 (会計年度(4月1日～3月31日)における収入)

一般会計**歳入**予算額

112億3,300万円



自主財源	33億8,909万円	30.2%
依存財源	78億4,391万円	69.8%

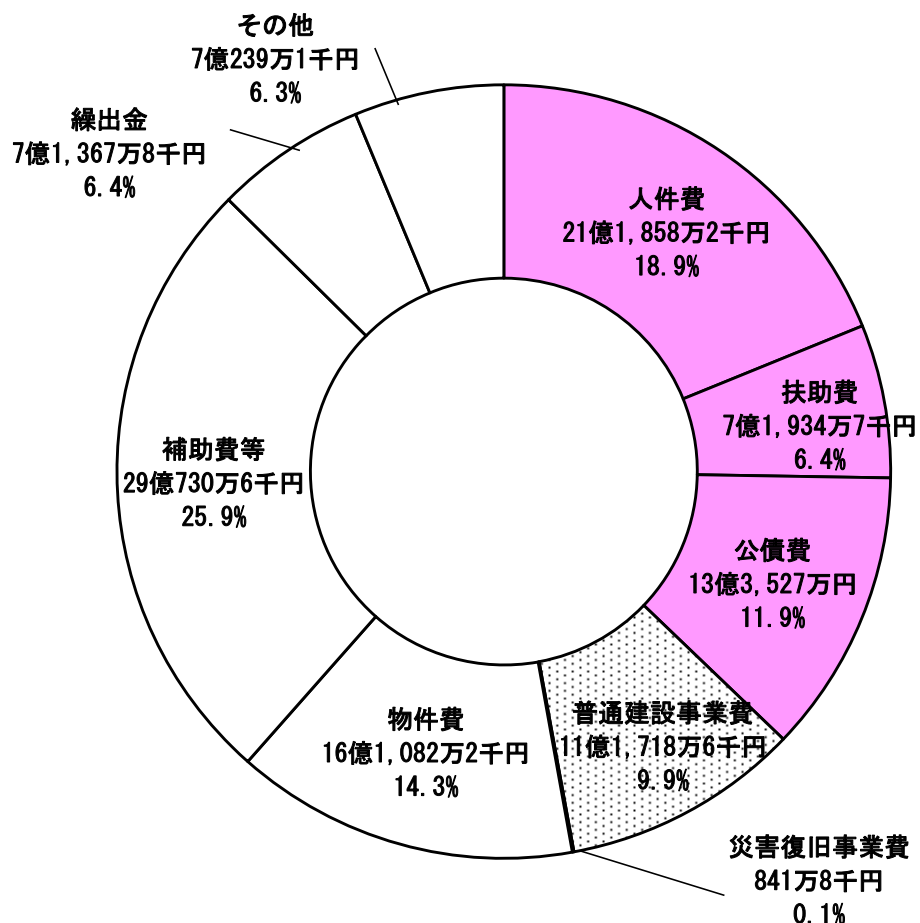
自主財源：町が町税など自らの力で収入できるお金

依存財源：国や都道府県から交付されたり割り当てられたりするお金

一般会計 **歳出** 内訳 (会計年度(4月1日～3月31日)における支出)

一般会計 **歳出** 予算額

112億3,300万円



義務的経費	41億7,319万9千円	37.2%
投資的経費	11億2,560万4千円	10.0%
その他経費	59億3,419万7千円	52.8%

義務的経費：支出することが制度的に義務付けられており、任意に削減することが容易ではないお金

投資的経費：道路、学校、公園の建設など社会資本の整備に関するお金

その他経費：義務的経費、投資的経費以外のお金

予算の3つの柱

1

健やかで幸せな
食の町

2

教育と
子育ての町

3

人のふれあい
を感じる町

＋ 行財政基盤の確立

1 健やかで幸せな食の町

「人生100年。健幸のまちづくり～生涯を通じて「こころ」と「からだ」を健幸に～」を基本方針として、町民の皆様が生きがいと誇りを持ち、生涯を通じて健やかで幸せに暮らすことができる「健幸」のまちづくりを推進します。

「食」は、本町の最大の魅力であり強みです。その資源を最大限にまちづくりに生かすため、「フードバレー構想」を取りまとめるとともに、「フードバレー京丹波推進協議会」を設置しました。農業・観光・産業が連携し、「食のまち京丹波」を推進します。

健やかで幸せな食の町 ①

【拡充】丹波くり振興事業 2,980万6千円

「丹波くり」の産地としての再生を目指し、優れた栽培技術継承の取組、栽培に係る経費を支援
→生産量の増加及びブランドの価値の向上

【拡充】丹波くり振興事業補助金

- ・苗木支援事業補助金
- ・新植・改植事業補助金
- ・凍害対策支援事業補助金
- ・栽培機材等支援事業補助金



本町の特産「丹波くり」

健やかで幸せな食の町 ②

【拡充】京丹波栗リファイン事業 1,019万7千円

「丹波くり」のブランド化の推進、付加価値の向上
→生産者、加工者、販売者の所得の引き上げ
ガバメントクラウドファンディングによる事業実施
→関係人口の創出、持続可能な仕組みを構築

【拡充】京丹波ブランド創出事業委託 599万6千円

- ▶ホテルや飲食店と連携して、京丹波栗のプロモーションを実施
- ▶「京丹波栗シンポジウム」を実施し、生産者、加工業者、飲食店が栗産業について考え、目線を合わせる場を設置

【新規】京丹波栗商品開発支援補助金 280万円

健やかで幸せな食の町 ③

【新規】食の京丹波推進事業 746万7千円

本町の最大の魅力である「食」を、町に人を呼ぶ「観光コンテンツ」として位置づけ、食の魅力を発信

- 食の祭典「京丹波マルシェ」の開催
- 町飲食店情報サイト「京 TAN EATS」の運営
- テイクアウト販売促進補助金 150万円

健やかで幸せな食の町 ④

【拡充】フードバレー推進事業 241万8千円

農業や食品製造・加工など、京丹波町の基幹産業でもある農と食分野の産業活性化を推進

→新たな雇用創出や起業の促進による人材定着

・【新規】フードバレー農場の設立 180万円

- ▶食と農の分野で活躍できる人財を地域おこし協力隊として採用
座学研修や実地研修、実践農場の農地整備から生産管理等を
3年間学び、新規就農や農業従事者等として独立を目指す



健やかで幸せな食の町 ⑤



【拡充】ウェルネス京丹波事業

(ポイント事業)

98万5千円

(健幸ウォーキング推進事業)

179万6千円

- スマホアプリ「スポーツタウンWALKER」の活用等により、日常的なウォーキングを推進
- アプリの機能を活用し、インセンティブ事業「ウェルネス京丹波ポイント」を実施
- ウォーキング教室やオンラインウォーキングイベントの開催

健やかで幸せな食の町 ⑥

【拡充】「私たちの町の私たちの病院」である
京丹波町病院と各診療所の充実

- 医療情報システム、医用画像情報システムの更新（京丹波町病院） 1億2,705万円
- 解析付心電計の更新（和知診療所） 313万5千円
- 可搬性手術用顕微鏡の購入（和知歯科診療所） 572万円

健やかで幸せな食の町 ⑦

【拡充】母子保健事業 763万3千円

全ての妊婦に対し、所得に関わらず初回産科受診料
の費用助成や産後ケア事業の利用者負担軽減を実施
→状況を継続的に把握し、必要な支援につなぐ

- 【新規】初回産科受診への助成 35万円
- 【拡充】産後ケア事業の利用者負担軽減 33万円
 - ▶アウトリーチ型（訪問型）の利用料（現行900円/回）無償化

健やかで幸せな食の町 ⑧

【拡充】福祉人材確保対策事業 162万円

介護福祉士試験の受験料、介護職員実務者研修の受講料等対象となる経費の一部を助成

- 【拡充】介護支援専門員（ケアマネジャー）・相談支援専門員として業務に就く予定者への支援を拡充

2 教育と子育ての町

本町の子どもたちが健やかに成長できるよう、「まちづくりは人づくり、人づくりはまちづくり」を基本理念に、教育への積極的な投資を行い、「京丹波町の良さを生かした、京丹波町ならではの教育の推進」に取り組めます。

教育と子育ての町①

【新規】こども家庭センター運営事業・人件費 468万6千円

母子保健と児童福祉を一体的に取り組む機関として、瑞穂保健福祉センター内に「こども家庭センター」を設置

→妊娠期から子育て期にわたる母子保健や育児に関する相談支援体制の機能を構築し、切れ目のない支援を実施

こども家庭センターを設置する瑞穂保健福祉センター



教育と子育ての町②

【拡充】児童手当支給事業 1億3,822万5千円

家庭等における生活の安定と、次代の社会を担う児童の健やかな成長のための支援のため、児童手当を支給

- 国の制度改革により、令和6年10月分から、支給対象の拡充、所得制限の撤廃など、拡充予定

教育と子育ての町③

【拡充】すこやか子育て医療費助成事業	2,158万6千円
高校生等医療費助成事業	249万9千円

子育て家庭の経済的負担の軽減のため、0歳から18歳までの子どもの医療費を助成

- 令和5年9月診療分から、窓口での医療費の負担を無償化

教育と子育ての町④

【拡充】放課後児童健全育成事業 1,893万4千円

町内3か所で放課後児童クラブを実施

- 【継続】のびのび2組の耐震化及びリノベーション工事に向けた設計業務の実施
- 【新規】のびのび3組の空調設備改修の実施



学童保育施設「のびのび児童クラブ 2組」

教育と子育ての町⑤

【拡充】学校適応支援推進事業 300万3千円

ユニバーサルデザインの視点（誰一人取り残さない）を踏まえた、不登校児童生徒に対する学習支援及び適応指導相談を実施

- 【拡充】連携型適応支援教室の拡充
- 【拡充】ハイパーQUテストを小学生高学年まで追加



教育と子育ての町⑥

【拡充】

小学校一般管理事業 7,804万2千円(うち1,313万5千円)

- **【新規】**丹波ひかり小学校体育館照明をLED照明に改修

【拡充】

中学校一般管理事業 5,524万4千円(うち600万円)

- **【新規】**蒲生野中学校体育館を全町的な防災拠点とするための空調化などの整備に向けた調査を実施

教育と子育ての町⑦

【拡充】

小学校一般管理事業	7,804万2千円(うち116万2千円)
中学校一般管理事業	5,524万4千円(うち1,658万4千円)

- **【新規】**猛暑対策として、小学校体育館(5校)と中学校体育館(3校)に冷房機器を導入



教育と子育ての町⑧

【拡充】京丹波町どこでも図書館管理運営事業 1,433万7千円

「京丹波町図書館」設置2年目

- きめ細かな図書サービスの提供と読書環境の充実
 - ▶蔵書購入費を800万円に増額
(前年度比200万円の増)
- 瑞穂分館のサービス拡充
 - ▶山村開発センター内に絵本の部屋を開設



教育と子育ての町⑨

【充実】京丹波町町民大学運営事業 113万9千円

京丹波町の「人」「物」「事」「歴史」を題材した講演、講座の開催

→町の良さを再認識、町に対する誇りの醸成

- 【新規】これまでに開催した講座のうち9講座をDVD化、社会教育教材として使用、図書館での貸出等に活用

教育と子育ての町⑩

【拡充】「地域の宝」(人材・文化財等)調査活用推進事業 261万8千円

- **【新規】**山城調査の継続と新たに作成した山城ガイドブック(山城調査報告書)に基づく山城現地ツアーや公開講座の実施
- **【新規】**山城を始めとする町内文化財の活用を目指す「地域学芸員」養成講座の実施
- **【新規】**文化財資料を一括して管理するための環境整備

教育と子育ての町⑪

【拡充】学校給食事業 9,943万3千円

- 地元食材の活用、地元食材に特化したメニュー開発（味夢くんランチの実施）

▶食の宝庫としての特色を生かした食育の推進



- 食を通じた地域、高校、地元企業との交流・連携によるメニュー開発、食材の開発

▶地域で育まれる「食」の魅力を感じるにより食文化の理解を深める

3 人のふれあいを感じる町

本町の特徴や魅力、資源を広く総合的にPRすることとして、タウンプロモーションキーワード「GREEN GREEN」を打ち出しました。まちに住む人、関わる人が共鳴し合いながら、いつまでも活力のあるまちを目指します。
災害から身を守り、安全で安心な暮らしを確保するため、災害に強いまちづくりを進めます。

人のふれあいを感じる町①

【継続】プロモーション戦略推進事業 2,208万9千円

- 令和5年秋に発表したタウンプロモーション方針に基づくアクションプランの策定

GREEN
GREEN

- 官民連携プロモーションチーム「Kyotamba InnovationLab」の運営



京丹波イノベーションラボ主催のクリスマスマーケット2023の様子

人のふれあいを感じる町②

【拡充】京丹波ファンクラブ事業 334万8千円

京丹波町のファンを「見える化」し、関係人口と町が「交動」する仕組みを構築

- ファンクラブ向けのイベントの企画やインセンティブの付与を実施
- 関係人口との結びつきを「見える化」「リスト化」し、観光移住等各施策へ展開
- 達成目標：ファンクラブ会員1,000人増

人のふれあいを感じる町③

【新規】from京丹波推進事業 621万1千円

京丹波町から生まれた「ヒト」「モノ」「コト」をブランド化し、発信

- 飲食店やクレジットカード会社などとの連携による京丹波食材や食の魅力を発信
- from京丹波創出支援補助金 400万円
 - ▶ 新たな返礼品の開発や増産体制の構築に対する経費への支援

人のふれあいを感じる町④

【拡充】観光振興事業 1,367万4千円

京丹波町における戦略的な観光振興施策
→観光客数の増加、京丹波町の知名度アップ

- **【新規】**観光パンフレット、
観光マップのリニューアル 274万5千円
- デマンド型周遊タクシーを活用した観光振興
事業の実施 243万1千円

人のふれあいを感じる町⑤

【新規】想いでつながるコミュニティ推進事業 173万6千円

- 「リトリートツーリズム」の実施

▶セカンドキャリアについて悩む都内在住の30～50代に対して、自然豊かな京丹波町において、心身を緩め、地域に在住する異なるライフスタイルを持つ方々と触れることで、自らの今後のキャリアと向き合う時間を作る

- **【継続】**「クラダシチャレンジin京丹波」の拡充

▶フードロス削減へ向けた都市部大学生の課題解決プロジェクトを通じた地方創生の推進や本町の魅力の発信、関係人口の創出

人のふれあいを感じる町⑥

協働のまちづくり事業 226万7千円(うち15万5千円)

- 和知駅前活性化に向けた調査
→ 地域の活性化に向けた支援
- 地域活性化推進会議(仮称)の設置と会議の運営
- 駅前から広げる地域の活性化の検討

人のふれあいを感じる町⑦

【新規】ダム周辺整備事業 254万円

畑川ダム及びその周辺を新たな交流拠点として位置づけ、水辺環境を活かした整備に向けた検討を実施

→交流人口の増加、移住等につながる効果を期待

人のふれあいを感じる町⑧

【新規】持続可能で豊かな地域創造事業 6,807万7千円

京丹波町地域SDGs活動プラットフォーム等による
SDGsの普及啓発と地域課題の解決への仕組みを
構築

- **【新規】**デジタル地域通貨アプリケーション導入 1,507万円
 - ▶ 持続可能な地域づくりのため、地域通貨の導入に向けシステムを構築
- **【新規】**交流拠点施設整備工事 4,000万円
 - ▶ みずほガーデンロッジを改修し、コワーキングスペースを追加

人のふれあいを感じる町⑨

グリーンランドみずほ管理運営事業 4,966万3千円

【継続】道の駅「瑞穂の里・さらびき」のリニューアル

- ・【新規】民間活力導入可能性調査 1,999万8千円
- ・【新規】キュービクル改修工事 521万2千円

特産館「和」管理運営事業 6,566万2千円

- ・【継続】空調設備改修工事 3,960万円
- ・【新規】トイレ改修工事 579万7千円

人のふれあいを感じる町⑩

【拡充】防犯事業 440万5千円

- 京都府南丹警察署との連携した取組みとして、防犯モデル地区を選定
- 横断幕やノボリ旗による啓発活動を実施
- 【新規】防犯カメラ設置工事 226万円

人のふれあいを感じる町⑪

【拡充】消防団活動運営事業 8,174万6千円

消防団の充実強化に向けた取組を実施
→団員の活動意欲と士気の向上

- 【拡充】消防団員出動報酬 805万3千円

▶上限額:災害出動 8千円/日、訓練出動 4千円/日

- 【新規】永年勤続特別功労表彰の創設

人のふれあいを感じる町⑫

交通対策一般事業 5,136万円

- コミュニティ・カーシェアリング補助金 60万円
 - ▶交通弱者の日常生活(地域内)における移動手段の確保
- 運転免許証自主返納奨励金 67万円
 - ▶町営バス利用券または交通ICカード1万円分の交付
- 町営バス利用促進助成金 36万円
 - ▶須知高校生の通学支援
- 路線バス運行支援金 4,780万5千円
 - ▶新たな事業者による安定した運行体制の確立

人のふれあいを感じる町⑬

【新規】デマンド交通推進事業 938万3千円

- 【新規】デマンドタクシー導入に向けた実証実験の実施

▶和知地区において実証運行を行い、地域全体の活性化に向けた施策を推進



行財政基盤の構築①

繰上償還実施に向けた財源確保 7,000万円

- 令和7年度の繰上償還実施に向け減債基金に7,000万円を積立

ふるさと納税制度による歳入の確保

- ふるさと応援寄附金 3億5,000万円
 - ▶ふるさと納税(寄附)の推進、町内産業等の活性化
- 企業版ふるさと応援寄附金 1,000万円

行財政基盤の構築②

新たな歳入の確保に向けた取組

- **【新規】**カーボンクレジット創出調査研究事業
503万5千円
▶町内森林のCO2吸収量(カーボンクレジット創出量)を把握し、町内外法人等に販売し森林施業に還元



行財政基盤の構築③

DXによる窓口サービス向上の取組

- 申請書作成システム
 - ▶ 申請書に氏名、住所、電話番号、性別をシステムで自動転記
- キャッシュレス決済システム
 - ▶ クレジットカード、電子マネー、QRコード 等を用いたキャッシュレス決済システムの導入
- 多言語通訳サービス
 - ▶ 日本語が話せない外国人の方との会話を自動翻訳するサービスの導入
- 電子申請システム
 - ▶ マイナンバーカードや決済システムを備えた電子申請システムの導入

行財政基盤の構築④

町有施設等の除却による管理経費の削減及び安心安全の確保

- 京丹波町役場旧庁舎 1億4,065万7千円
- 下山地内自転車置場 83万4千円
- 京丹波町商工会瑞穂支所横公衆トイレ 66万円

令和6年度京丹波町
当初予算の概要

京丹波町総務部財政課

